

保育士修学資金貸付申請書

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

養成施設を卒業後、北海道内（札幌市を除く。）において保育士として業務に従事することを目的に保育士修学資金の貸付けを次のとおり申請します。

養成施設名		第 学年（ 年制）		入学年月		年 月	
借 受 希 望 者	フリガナ						
	氏名	㊟					
	生年月日	年 月 日生（ 歳）					
	連絡先	〒 ー		自宅		ー ー	
				携帯		ー ー	
債務額	・なし ・あり	※ありの場合は、借入先・借入額・借入目的・借入開始日・残額・月々の返済額・滞納額を明記した書類を作成し、申込時に併せて提出して下さい。					
連 帯 保 証 人	フリガナ						借受希望者との関係
	氏名	㊟					
	生年月日	年 月 日生（ 歳）					
	連絡先	〒 ー		自宅		ー ー	
				携帯		ー ー	
債務額	・なし ・あり	※ありの場合は、借入先・借入額・借入目的・借入開始日・残額・月々の返済額・滞納額を明記した書類を作成し、申込時に併せて提出して下さい。					
借受希望理由							
借受希望 期間・金額		年 月 から		(月額		円)	
		年 月 まで		箇月分 計		円	
		入学準備金（初回加算額				円)	
		就職準備金（最終回加算額				円)	
		合 計				円	
・本申込により貸付けが決定した場合、貸付金の送金先を在学する養成施設とすることに同意する。							
借受希望者氏名						㊟	
連帯保証人氏名						㊟	

保育士修学資金貸付申請書（生活費加算対象者向け）

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

養成施設を卒業後、北海道内（札幌市を除く。）において保育士として業務に従事することを目的に生活費加算を含む保育士修学資金の貸付けを次のとおり申請します。

養成施設名			
		第 学年（ 年制）	入学年月 年 月
借 受 希 望 者	フリガナ		
	氏名	㊦	
	生年月日	年 月 日生（ 歳）	
	連絡先	〒 ー 自宅 ー ー 携帯 ー ー	
	債務額	・なし ・あり	※ありの場合は、借入先・借入額・借入目的・借入開始日・残額・月々の返済額・滞納額を明記した書類を作成し、申込時に併せて提出して下さい。
連 帯 保 証 人	フリガナ	借受希望者との関係	
	氏名	㊦	
	生年月日	年 月 日生（ 歳）	
	連絡先	〒 ー 自宅 ー ー 携帯 ー ー	
	債務額	・なし ・あり	※ありの場合は、借入先・借入額・借入目的・借入開始日・残額・月々の返済額・滞納額を明記した書類を作成し、申込時に併せて提出して下さい。
借受希望理由			
<p>・本申込により貸付けが決定した場合、貸付金の送金先を在学する養成施設とすることに同意する。</p> <p style="text-align: right;">借受希望者氏名 ㊦</p> <p style="text-align: right;">連帯保証人氏名 ㊦</p>			

借受希望期間・金額	期間	年 月 から (月額 円) 年 月 まで 箇月分 計 円 ※生活費加算を含む保育士修学資金の貸付けは、1年毎、申請書を提出することとなります。
	修学費	① 月額 _____ 円 × _____ か月 = 計 _____ 円 ② 入学準備金 (初回加算額 _____ 円) ③ 就職準備金 (最終回加算額 _____ 円) 修学費合計 (①+②+③) = _____ 円 [Ⓐ]
	生活費	月額 _____ 円 × _____ か月 = 計 _____ 円 [Ⓑ] ※生活費の貸付可能月額は、養成施設入学後の居住地及び各年度の年齢によって異なります。
	総額	修学費 [Ⓐ] _____ 円 + 生活費 [Ⓑ] _____ 円 = _____ 円

保育士修学資金 貸付対象額確認書

借受(希望)者氏名 _____ ㊤

高等教育の修学支援新制度 (該当するものに○を付けてください)

- ・ 利用（申請）する
- ・ 利用（申請）しない

1 修学にかかる経費

【入学金、授業料】

費目	金額	内訳
入学金	円 ㊦	㊦
授業料	円 ㊧	㊧

【修学費用】

費目	金額	内訳
教材費等	円	
施設費等	円	
実習費	円	
その他	円	
	円	
	円	
	円	
計	円 ㊨	㊨

2 修学支援新制度 認定結果 (該当するものに○を付けてください)

- ・ 支援対象外
- ・ 支援決定 → 内容
 - ・ 給付型奨学金
 - ・ 授業料等減免
 - 入学金減免額 _____ 円 ㊩
 - 授業料減免額 _____ 円 ㊪

※減免額の確認できる決定書類等の写しを添付してください。

3 保育士修学資金貸付対象額 (入学準備金、修学費月額)

費目	金額	内訳
入学準備金	円	㊦-㊩の額
修学費 (月額)	円	㊧-㊪+㊨の額又は限度額60万のいずれか低い額の範囲内で希望する額 ÷ 12ヵ月=月額 (月額の端数1円単位切り捨て)

※就職準備金については、修学支援新制度の支援の有無に関係なく申請できます。

保育士修学資金貸付推薦状

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

養成施設の所在地

養成施設の名称

養成施設の長の職及び氏名



下記の者は、保育士修学資金の貸付けを受ける者として適当であると認められるので推薦いたします。

課程名	(年制)
学年	
氏名	
所見 (人物・成績等)	
推薦理由	(推薦順位 /)

【厳守事項】

借受者及び連帯保証人は次の事項を厳守しなければならない。

- 1 定められた返還方法により、返還すべき日までに返還金を本会へ支払わなければならない。
- 2 保育士修学資金貸付実施細則に基づき、本会へ届出を必要とする事実が発生した場合は、速やかに所定様式によって届出を行わなければならない。
- 3 本会は借受者または連帯保証人が次の各号のいずれかに該当する場合は、貸付けの契約を解除し、送金を停止するものとする。
 - (1) 退学したとき。
 - (2) 修学資金の貸付けを受けることを辞退したとき。
 - (3) 負傷、疾病その他の理由により修学を継続する見込みがなくなると認められるとき。
 - (4) 学業成績が著しく不良になったと認められるとき。
 - (5) 死亡したとき。
 - (6) 虚偽の申請その他不正な手段により修学資金の貸付けを受けたとき。
 - (7) 本会が借受者または連帯保証人の破産手続開始等により適正な債権管理ができないと判断したとき。
 - (8) 修学資金の貸付けの目的を達成する見込みがなくなると認められるとき。
 - (9) 保育士修学資金貸付実施細則により提出すべきものとされた届出、報告等を提出しないとき。
- 4 借受者または連帯保証人が返還金を返還しなければならない日までにこれを返還しなかったときは、当該返還すべき日の翌日から返還の日までの期間の日数に応じ、返還すべき額につき年3%の割合で計算した延滞利子を徴収するものとする。
- 5 本会と借受者または連帯保証人との間で調停または訴訟の必要が生じた場合には、本会の所在地を管轄する裁判所を合意裁判所とする。

保育士修学資金連帯保証人変更届

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

〒
借受者 住 所
氏 名
(電話番号
生年月日 年 月 日生

)

次のとおり連帯保証人を変更したいので届け出ます。

新たな連帯保証人	本 籍	
	住 所	〒 (電話番号)
	氏 名	
	生 年 月 日	年 月 日生
	職 業	
	借受者との関係	
従前の連帯保証人	本 籍	
	住 所	〒 (電話番号)
	氏 名	
	生 年 月 日	年 月 日生
	職 業	
	借受者との関係	
変 更 の 理 由		

上記借受者に係る保育士確保対策事業実施要綱の規定により貸付された修学資金について、一切の債務を連帯して保証します。

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

連帯保証人氏名 ㊟

保育士修学資金貸付氏名（住所）変更届

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

〒

借受者 住 所

（電話番号 — — ）

ふりがな
氏 名

次のとおり借受者（連帯保証人）の氏名（住所）を変更したので届け出ます。

〒

変更前 氏 名（住 所）

〒

変更後 氏 名（住 所）

注 氏名の変更に係る場合は、戸籍抄本を添付すること。

保育士修学資金貸付辞退届

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

修学資金の貸付の決定を受けた者

住 所

氏 名

㊦

次のとおり保育士確保対策事業実施要綱による修学資金の貸付を辞退したいので、届け出ます。

1 辞退する時期 年 月 日

貸付決定金額		円
貸付決定期間	年 月 日から	年 月 日まで
内訳	月額	円（ 箇月分 計 円）
	入学準備金	円
	就職準備金	円

2 辞退理由

保育士修学資金貸付休学（停学・復学）届

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

修学資金の貸付の決定を受けた者

住 所

氏 名

次のとおり休学した（停学の処分を受けた・復学した）ので届け出ます。

1 休学（停学）期間

年 月 日から 年 月 日まで

2 休学（停学）理由

復学届の場合のみ

上記のとおり相違ないことを証明します。

年 月 日

養成施設名

養成施設の長

印

保育士修学資金貸付卒業（退学）届

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

借受者 住 所

氏 名

年 月 日卒業（退学）したので届け出ます。

卒業届の場合のみ

上記のとおり相違ないことを証明します。

年 月 日

養成施設名

養成施設の長

印

保育士修学資金貸付業務従事等届

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

〒

借受者 住 所

氏 名

(電話番号 — —)

生年月日 年 月 日生

次のとおり保育士として児童の保護等の業務に従事した（従事しなくなった）ので届け出ます。

1 従事した（従事しなくなった）年月日

年 月 日

2 従事した（従事しなくなった）施設名及び業務内容

施設名

所在地

職 種

3 従事しなくなった理由（従事しなくなったときのみ記入）

* 業務に従事した場合

上記のとおり従事していることを証明します。

年 月 日

施設長



注1 従事届書として使用するときは、従事した施設の長の証明をもらうこと。

注2 卒業後初めて提出する場合、保育士登録証の写しを添付すること。

保育士修学資金貸付業務継続不能等届

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

届出義務者 住 所 丁目
氏 名 印
(電話番号 ー ー)

次のとおり保育士修学資金借受者が保育士確保対策事業実施要綱第8の(1)②に該当したので、届け出ます。

1 借受者

氏名 (生年月日 年 月 日)

住所

2 該当した年月日

年 月 日

3 原因

注 保育士として、児童の保護等の業務に従事している期間中に、当該業務上の事由により死亡し、又は当該業務に起因する心身の故障のため当該業務を継続することができなくなったときは、その事実を確認できる書類を添付すること。

保育士修学資金貸付児童の保護等の業務従事報告書

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

借受者 住 所 〒
 氏 名
 （電話番号 — — ）
 生年月日 年 月 日生

次のとおり児童の保護等の業務の従事状況について、報告します。

就業 施設	名 称	
	所 在 地	
業 務 内 容（職 種）		
就 業 期 間		年 月 日 から 年 月 日 まで
中 断 期 間		年 月 日 から 年 月 日 まで
中 断 理 由		
就 業 事 実 の 証 明		上記のとおり相違ないことを証明します。 <div style="text-align: right;">年 月 日</div> 就業施設の長 印

保育士修学資金返還明細書

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

借受者 住 所
 氏 名 ㊟
 (電話番号 — —)
 生年月日 年 月 日生

次のとおり保育士修学資金を返還したいので、次のとおり提出します。

借用金額	年 月 日から 月額 円
	年 月 日まで 箇月分 計 円
	入学準備金 (初回加算額) 円
	就職準備金 (最終回加算額) 円
合 計	円
返還期間	年 月 日から 年 月間 年 月 日まで
1 回 の 払込金額	
備 考	

保育士修学資金返還方法変更申請書

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

〒
借受者 住 所

氏 名 ㊟

（電話番号 ー ー ）

生年月日 年 月 日生

次のとおり保育士修学資金の返還方法を変更したいので、申請します。

未 返 還 額 金 円

返 還 期 間	新	年 月 日から 年 月 日 年 月 日まで	年 月 間
	旧	年 月 日から 年 月 日 年 月 日まで	年 月 間
1 回 の 払 込 金 額	新		
	旧		
変 更 の 理 由			

保育士修学資金返還債務の履行猶予申請書

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

借受者 住 所 丁目
氏 名 印
(電話番号 ー ー)
生年月日 年 月 日生

次のとおり保育士確保対策事業実施要綱第10の規定による返還の債務の履行の猶予を、関係書類を添えて申請します。

1 未返還額 金 円

2 猶予期間 年 月 日から
年 月 日まで

3 申請の理由

4 添付書類（申請の理由を確認できる書類）

保育士修学資金返還金減免申請書

年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

借受者 住 所 下
氏 名 印
(電話番号 ー ー)
生年月日 年 月 日生

次のとおり保育士確保対策事業実施要綱第11の規定による返還金の減免を、関係書類を添えて申請します。

1 借 受 者 氏 名

2 借 用 金 額 円

3 返 還 額 円

4 減 免 申 請 額 円

5 申 請 の 理 由

6 添 付 書 類 (申請理由を確認できる書類)